

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7 年 3 月 18 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3			現在使用していませんが、支援に必要な場合は訪問先と協議し用意します。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			現在の利用人数に対しては適切ですが、今後増えた場合は職員数も検討が必要だと思います。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3			訪問支援に関わる職員は参画しています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			今年度から訪問支援を開始しているので、今回の保護者様の評価を業務改善に繋げていきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			意見や疑問点を話す機会を作るようにしています。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		今年度から訪問支援を開始しているので、今後業務改善に繋げていきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1		社内で定期的に研修があり参加している。また、社外の研修についても参加できるように情報を集めています。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3			保護者様が小さなことでも相談できる関係性を築き、ニーズや課題を分析できるように努めています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			支援に関わる職員と情報共有や支援計画を検討しています。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3			訪問先の先生方と意向や現場での支援について話し合う機会を作っています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			支援計画を作成後、必ず共有するようにしています。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			お子さんの行動について様々な情報を確認するようにしています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			お子さんの特性や園での様子・環境を踏まえて支援に取り組んでいます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			支援計画を作成後、必ず共有するようにしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	2		必要最低限ではなく余裕をもち、打ち合わせができるように努めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2		必要最低限ではなく余裕をもち、打ち合わせができるように努めています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3			訪問先について事前に調べる等、理解したうえで支援へ行くようにしています。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3			支援の記録をとり、支援計画の作成や面談に活かしています。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			訪問の報告や面談時に、意向について話す機会を作っています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		3		現在関係機関の会議に参加する機会がありませんが、今後参画する際はお子さんの状況を理解しているものが出席します。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			まだ機会はありませんが、連携できるよう準備はしていきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			今年度から訪問支援を開始しているので機会がありませんが、今後情報共有等できるようにしていきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		3		今後機会がありましたら参加していきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		3		今後機会がありましたら参加していきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			小さなことでも情報を共有するようにしています。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2		今後、保護者様が参加できる研修等お知らせできるようにしていきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			契約時に管理者が行っています。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			電話や事前の顔合わせの際にできる限り詳しく説明するようにしています。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			面談等で意向の確認をしています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			支援計画の内容について具体例を話す等、できる限りわかりやすく伝えていきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			お子さんを取り巻く様々な話に傾聴しながら、相談しやすい関係を築けるようにしています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		3		今年度から訪問支援を開始し利用者が少ないこともあり、保護者会については今後検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			相談や申し入れについて周知するようにしていきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3			訪問支援単体ではしていませんが、放課後等デイサービスとしては発信をしています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			個人情報については、鍵付きの書庫を利用する等留意しています。
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			何事もわかりやすく伝え、見返せるように書面やメールも併用する等努めています。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			訪問先で他のお子さんの支援についての質問にも対応しています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			訪問後に連絡をとり、訪問時に気付いたことや情報交換等を行っています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			訪問後に連絡をとり、訪問時のお子さんの様子や情報共有を行っています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			個人情報について、意識して取り扱うようにしています。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			支援について話しやすい関係性が築けるように努めています。

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		3		訓練を実施していないため、今後検討していきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		3		今後安全管理について検討していきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			ヒヤリハットがあった場合は、共有し対策を話し合う習慣が事業所内でできています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			社内で研修があり参加しています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			現在身体拘束を行う対象児童はいません。